

報道関係各位

2014年12月22日

クラウド総研(アイレット株式会社 cloudpack 事業部内)

**『国内クラウド市場 ユーザー利用動向調査 2014年度 vol.3』  
～企業のパブリック・クラウドに関するブランド別利用実態・意識調査～**

cloudpack(運営:アイレット株式会社、本社:東京都港区、代表取締役:齋藤 将平)が立ち上げた 国内クラウド市場における企業ユーザー動向を定期的に調査・発信していく調査機関『クラウド総研』は、第3弾として、「企業のパブリック・クラウドに関するブランド別利用実態・意識調査」についての調査結果を発表いたします。

第3弾となる今回の調査では、自社のICT投資額を把握し、ICTに関して決済権を持つ役職である全国1000名の20～60代の男女に対し、「企業のパブリック・クラウドに関するブランド別利用実態・意識」についてインターネットによる調査を実施いたしました。

クラウド総研は、今後も定期的に、企業のクラウドに関する利用動向や意向などを調査・発表予定です。

※2014年7月～9月にインターネット調査にて実施。

※全国の法人において、自社の2012年～2014年のICT投資額を把握している(優先項目)、もしくは「取引しているベンダーの社名や依頼案件の概要」「現在社内で稼働しているシステムの稼働状況と社内評価」「現在自社が抱えるIT分野での悩み、今後の計画」について把握している、次長・課長以上の1000名を対象として実施。

※本リリースに含まれる調査結果をご掲載頂く際は、必ず「クラウド総研調べ」と明記ください。

※本リリースに含まれるデータの詳細内訳については「クラウド総研」までお問い合わせ下さい。

《調査結果概要》

～企業のパブリック・クラウドに関するブランド別利用実態・意識調査～

- 2014年7月～9月時点での各クラウドサービスの利用実態/利用検討状況を見ると、「その他サービス」が42.6%で最も高い数値をマークしたものの、次いで「Microsoft Azure 提供:マイクロソフト(28.4%)」、「Google App Engine/Google Compute Engine 提供:Google(24.7%)」、「Amazon Web Services(AWS) 提供:アマゾン(11.2%)」となった。
- 各クラウドサービスへの初期投資額を見ると、「1.Amazon Web Services(AWS) 提供:アマゾン」は、「初期投資なし」が24.3%で最も高く、次いで「50万円未満(20.0%)」「300～500万円未満(14.3%)」。同じく、「2.Microsoft Azure 提供:マイクロソフト」は、「50万円未満」が21.5%で最も高く、次いで「500～1,000万円未満(14.7%)」「初期投資なし(13.0%)」。「3.Google App Engine/Google Compute Engine 提供:Google」は、「初期投資なし」が29.2%で最も高く、次いで「50万円未満(24.7%)」「100～300万円未満(10.4%)」だった。
- 各クラウドサービスに対する月ごとの投資額を見ると、「1.Amazon Web Services(AWS) 提供:アマゾン」は「5万円未満」が30.0%で最も高く、次いで「5～10万円未満(17.1%)」「50～80万円未満(11.4%)」「100～200万円未満(11.4%)」。「2.Microsoft Azure 提供:マイクロソフト」は、「5万円未満」が20.3%で最も高く、次いで「5～10万円未満(16.4%)」「30～50万円未満(15.8%)」。「3.Google App Engine/Google Compute Engine 提供:Google」は、「5万円未満」が46.1%で最も高く、次いで「5～10万円未満(13.0%)」「10～30万円未満(9.7%)」「30～50万円未満(9.7%)」。
- 各サービスに対する利用用途を比較すると、「1.Amazon Web Services(AWS) 提供:アマゾン」は「WEBシステム」が55.7%で最も高く、次いで「ストレージ(48.6%)」。「2.Microsoft Azure 提供:マイクロソフト」は「WEBシステム」が58.8%で最も高く、次いで「ストレージ(44.6%)」。「3.Google App Engine/Google Compute Engine 提供:Google」は、「ストレージ(48.1%)」「WEBシステム(48.1%)」が最も高い結果となった。
- 各クラウドベンダーのイメージ上位3つは、「1.Amazon Web Services(AWS) 提供:アマゾン」が、「その他(30.8%)」、「規模が大きい(25.3%)」「先進的(13.8%)」。「2.Microsoft Azure 提供:マイクロソフト」が、「その他(29.3%)」、「規模が大きい(27.9%)」「専門知識がある(16.4%)」。「3.Google App Engine/Google Compute Engine 提供:Google」が、「その他(31.4%)」、「規模が大きい(24.3%)」「先進的(14.8%)」。「4.ニフティクラウド 提供:ニフティ」が、「その他(42.2%)」、「規模が大きい(10.1%)」「専門知識がある(7.9%)」「クオリティが高い(7.9%)」。「5.IIJクラウドソリューション 提供:IIJ グローバルソリューションズ」は、「その他(50.8%)」、「専門知識がある(8.3%)」「実績(事例数)が少ない(6.8%)」。「6.GMOクラウド 提供:GMOクラウド」が、「その他(51.8%)」、「実績(事例数)が少ない(9.1%)」「専門知識がある(6.7%)」。「7.さくらのクラウド 提供:さくらインターネット」が、「その他(52.8%)」、「実績(事例数)が少ない(8.8%)」「安い(8.3%)」。「8.IDCフロンティアクラウド 提供:IDCフロンティア」が、「その他(55.5%)」、「実績(事例数)が少ない(8.7%)」「高い(5.7%)」となった。
- クラウドインテグレーターを選ぶ際に重視するポイントについて、全体では、「サポートする技術や知識の幅広さ」が41.3%で最も高く、次いで「知識・ノウハウの豊富さ(36.9%)」「わかりやすい料金体系(35.9%)」となった。

## ～各クラウドサービスの利用実態/利用検討状況～

- 全体では、「その他サービス」が 42.6%で最も高く、次いで「Microsoft Azure 提供:マイクロソフト(28.4%)」「Google App Engine/Google Compute Engine 提供:Google(24.7%)」、「Amazon Web Services(AWS) 提供:アマゾン(11.2%)」となった。
- 業種別に特色を見ると、「情報通信業」では「Amazon Web Services(AWS) 提供:アマゾン」の利用が 25.5%と、全体における AWS 利用状況(11.2%)より 10 ポイント以上高い数値をマークした。また、「情報通信業」では、「GMO クラウド 提供:GMOクラウド」の利用が 14.5%と、全体における GMOクラウド利用状況(4.3%)より 10 ポイント以上高い数値をマークした。「医療・福祉」では、「Google App Engine/Google Compute Engine 提供:Google」が 38.7%と、全体における Google 利用状況(24.7%)より 10 ポイント以上高い数値をマークした。
- ✓ 従業員規模別に特色を見ると、大きく全体の状況と異なる結果を示したのは「1～10人」と「51～100人」。  
「1～10人」では「Google App Engine/Google Compute Engine 提供:Google」の利用が 38.6%、「51～100人」では、36.1%と、それぞれ全体における Google 利用状況(24.7%)より 10 ポイント以上高い数値をマークした。また、「1～10人」では「Microsoft Azure 提供:マイクロソフト」が 17.4%と、全体における Azure 利用状況(28.4%)より 10 ポイント以上低い数値をマークした。  
「3,001人以上」では、「Amazon Web Services(AWS) 提供:アマゾン」が 20.0%、「Microsoft Azure 提供:マイクロソフト」が 37.6%と、それぞれ全体における利用状況より 5 ポイント以上高い数値をマークしたが、「Google App Engine/Google Compute Engine 提供:Google」は 16.5%と、全体における利用状況より 5 ポイント以上低い数値をマークした。
- ✓ 年商規模別に特色を見ると、「1兆円以上」における「Amazon Web Services(AWS) 提供:アマゾン」の利用が 28.6%、「5,000万円未満」における「Google App Engine/Google Compute Engine 提供:Google」の利用が 36.7%、「5,000万～1億円未満」における「Google App Engine/Google Compute Engine 提供:Google」の利用が 39.0%と、それぞれ全体における利用状況より 10 ポイント以上高い数値をマークした。  
一方、全体よりも 10 ポイント以上低い数値をマークしたのは、「5,000万円未満」「5,000万～1億円未満」における「Microsoft Azure 提供:マイクロソフト」となった。

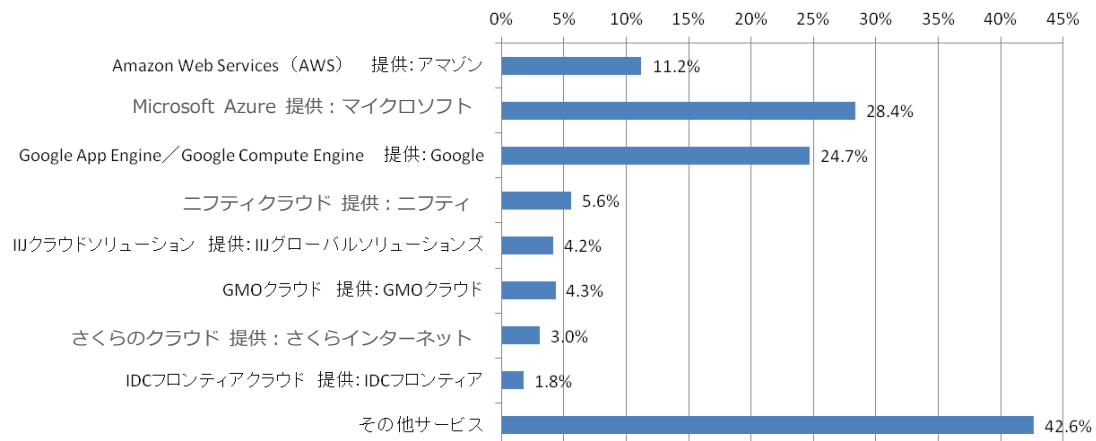
## Q1. パブリッククラウドについて「現在全社的に/一部の事業所または部門で利用している」

「現在まだ利用していないがこれから利用する予定がある」と答えた方にお尋ねします。

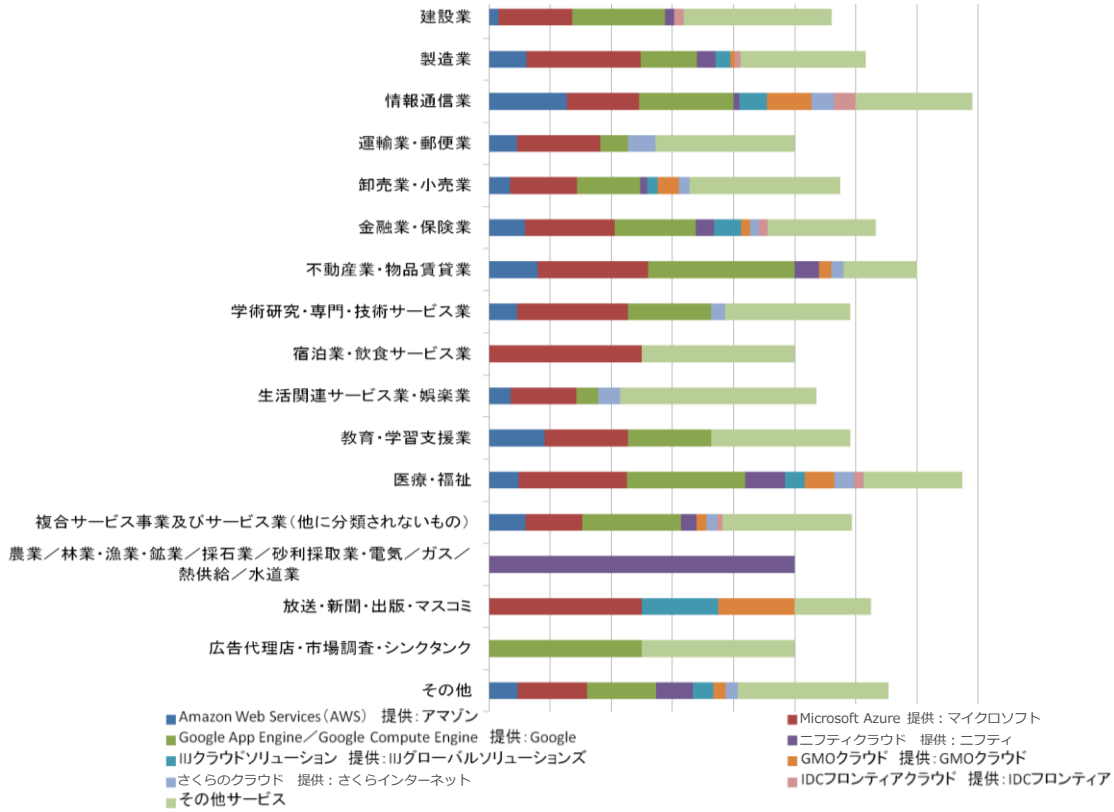
(※詳細はクラウド総研 vol2 を参照)

貴社は、以下のどのサービスを利用していますか。また検討中の方は、どのサービスを利用する予定ですか。当てはまるものをいくつでもお答え下さい。(MA、n=624)

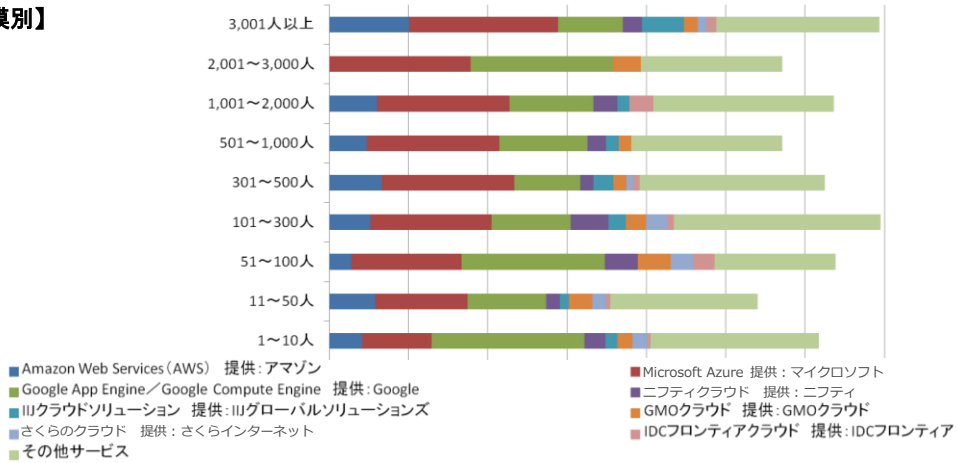
## 【全体状況】



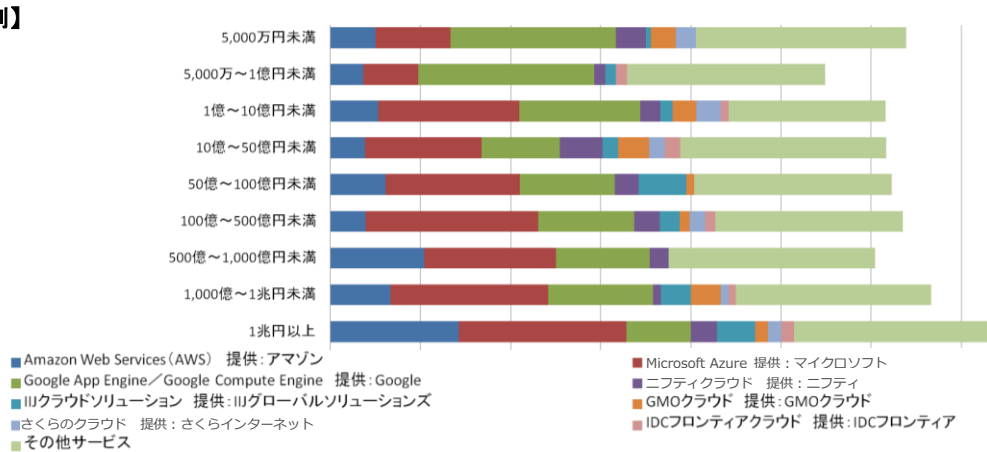
## 【業種別】



## 【従業員規模別】



## 【年商規模別】





## ～各クラウドサービスへの月額投資額～

- ✓ 各サービスに対する月ごとの投資額を比較すると、以下の結果となった。
  - 「1.Amazon Web Services(AWS) 提供:アマゾン」は「5万円未満」が30.0%で最も高く、次いで「5～10万円未満(17.1%)」「50～80万円未満(11.4%)」「100～200万円未満(11.4%)」。
  - 「2.Microsoft Azure 提供:マイクロソフト」は、「5万円未満」が20.3%で最も高く、次いで「5～10万円未満(16.4%)」「30～50万円未満(15.8%)」。
  - 「3.Google App Engine/Google Compute Engine 提供:Google」は、「5万円未満」が46.1%で最も高く、次いで「5～10万円未満(13.0%)」「10～30万円未満(9.7%)」「30～50万円未満(9.7%)」。
  - 「4.ニフティクラウド 提供:ニフティ」は、「5万円未満」が22.9%で最も高く、次いで「5～10万円未満(17.1%)」「10～30万円未満(17.1%)」。
  - 「5.IJクラウドソリューション 提供:IJグローバルソリューションズ」は、「10～30万円未満」が23.1%で最も高く、次いで「5万円未満(15.4%)」「5～10万円未満(15.4%)」。
  - 「6.GMOクラウド 提供:GMOクラウド」は、「5万円未満」が44.4%で最も高く、次いで「10～30万円未満(14.8%)」「5～10万円未満(11.1%)」「80～100万円未満(11.1%)」。
  - 「7.さくらのクラウド 提供:さくらインターネット」は、「5万円未満」が57.9%で最も高く、次いで「10～30万円未満(10.5%)」「100～200万円未満(10.5%)」。
  - 「8.IDCフロンティアクラウド 提供:IDCフロンティア」は、「30～50万円未満」が27.3%で最も高く、次いで「5万円未満(18.2%)」「5～10万円未満(18.2%)」「500万円以上(18.2%)」。
  - 「9.その他サービス」は「5万円未満」が47.4%で最も高く、次いで「5～10万円未満(13.2%)」「30～50万円未満(8.3%)」。

Q3. 以下の各サービスについて、「現在全社的に／一部の事業所または部門で利用している」

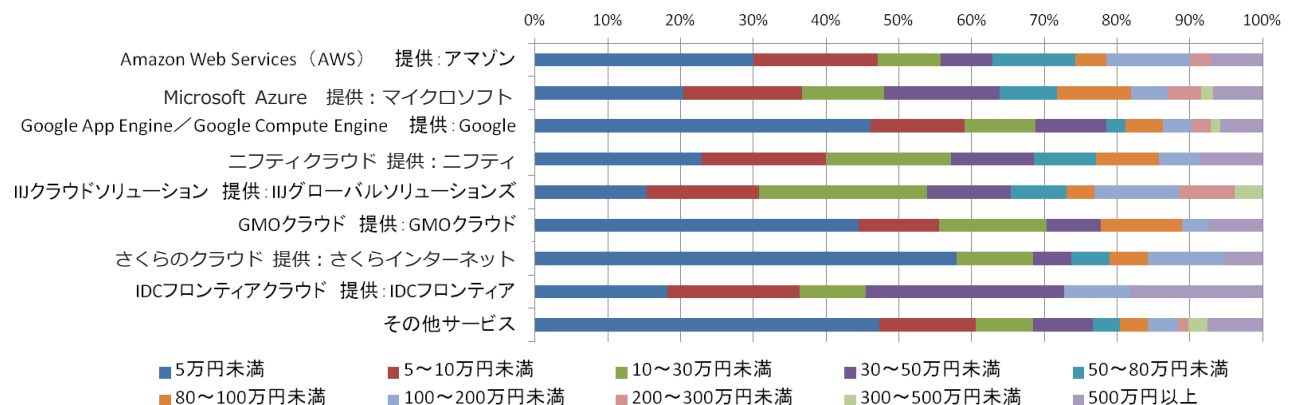
「現在まだ利用していないがこれから利用する予定がある」と答えた方にお尋ねします。

各サービスに、毎月いくらの投資を行っていますか。これから利用を予定していच्छる方は、どのくらいの月額投資額を予定していच्छやいますか。当てはまるものを選んで下さい。

(SA、nはサービスごとに異なるため下記表を参照)

### 【全体】

サービス名	(N)
Amazon Web Services(AWS) 提供:アマゾン	70
Microsoft Azure 提供:マイクロソフト	177
Google App Engine/Google Compute Engine 提供:Google	154
ニフティクラウド 提供:ニフティ	35
IJクラウドソリューション 提供:IJグローバルソリューションズ	26
GMOクラウド 提供:GMOクラウド	27
さくらのクラウド 提供:さくらインターネット	19
IDCフロンティアクラウド 提供:IDCフロンティア	11
その他サービス	266



## ～各クラウドサービスの利用用途～

- ✓ 各サービスに対する利用用途を比較すると、以下の結果となった。  
「1.Amazon Web Services (AWS) 提供:アマゾン」は「WEB システム」が 55.7%で最も高く、次いで「ストレージ (48.6%)」。
- ✓ 「2.Microsoft Azure 提供:マイクロソフト」は「WEB システム」が 58.8%で最も高く、次いで「ストレージ(44.6%)」。
- ✓ 「3.Google App Engine/Google Compute Engine 提供:Google」は、「ストレージ(48.1%)」「WEB システム(48.1%)」が最も高い。
- ✓ 「4.ニフティクラウド 提供:ニフティ」は「WEB システム」が 62.9%で最も高く、次いで「ストレージ(60.0%)」。
- ✓ 「5.IJクラウドソリューション 提供:IJグローバルソリューションズ」は「WEB システム」が50.0%で最も高く、次いで「情報系システム(34.6%)」。
- ✓ 「6.GMO クラウド 提供:GMO クラウド」は「WEB システム」が 55.6%で最も高く、次いで「ストレージ(48.1%)」。
- ✓ 「7.さくらのクラウド 提供:さくらインターネット」は「WEB システム」が 63.2%で最も高く、次いで「ストレージ(31.6%)」。
- ✓ 「8.IDC フロンティアクラウド 提供:IDC フロンティア」は、「WEB システム」が 54.5%で最も高く、次いで「基幹システム(45.5%)」。
- ✓ 「9.その他サービス」は「WEB システム」が 40.2%で最も高く、次いで「ストレージ(34.6%)」で続く。

### Q4. 以下の各サービスについて、「現在全社的に/一部の事業所または部門で利用している」

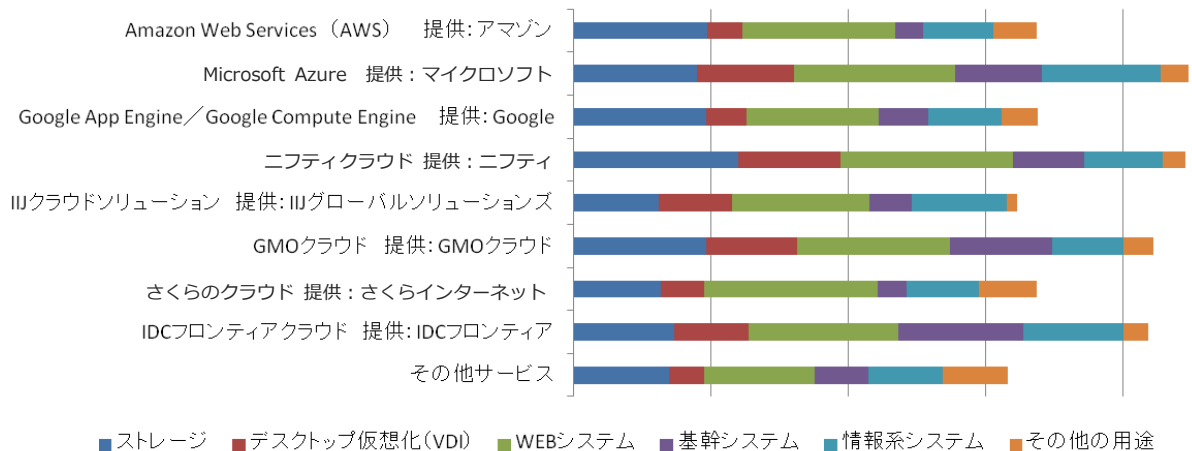
「現在まだ利用していないがこれから利用する予定がある」と答えた方にお尋ねします。

各サービスを、以下のどの用途で利用していますか。これから利用を予定していらっしゃる方は、以下のどの用途で使用予定ですか。当てはまるものを選んで下さい。

(MA、n はサービスごとに異なるため下記表を参照)

#### 【全体】

サービス名	(N)
Amazon Web Services (AWS) 提供:アマゾン	70
Microsoft Azure 提供:マイクロソフト	177
Google App Engine/Google Compute Engine 提供:Google	154
ニフティクラウド 提供:ニフティ	35
IJクラウドソリューション 提供:IJグローバルソリューションズ	26
GMOクラウド 提供:GMOクラウド	27
さくらのクラウド 提供:さくらインターネット	19
IDCフロンティアクラウド 提供:IDCフロンティア	11
その他サービス	266

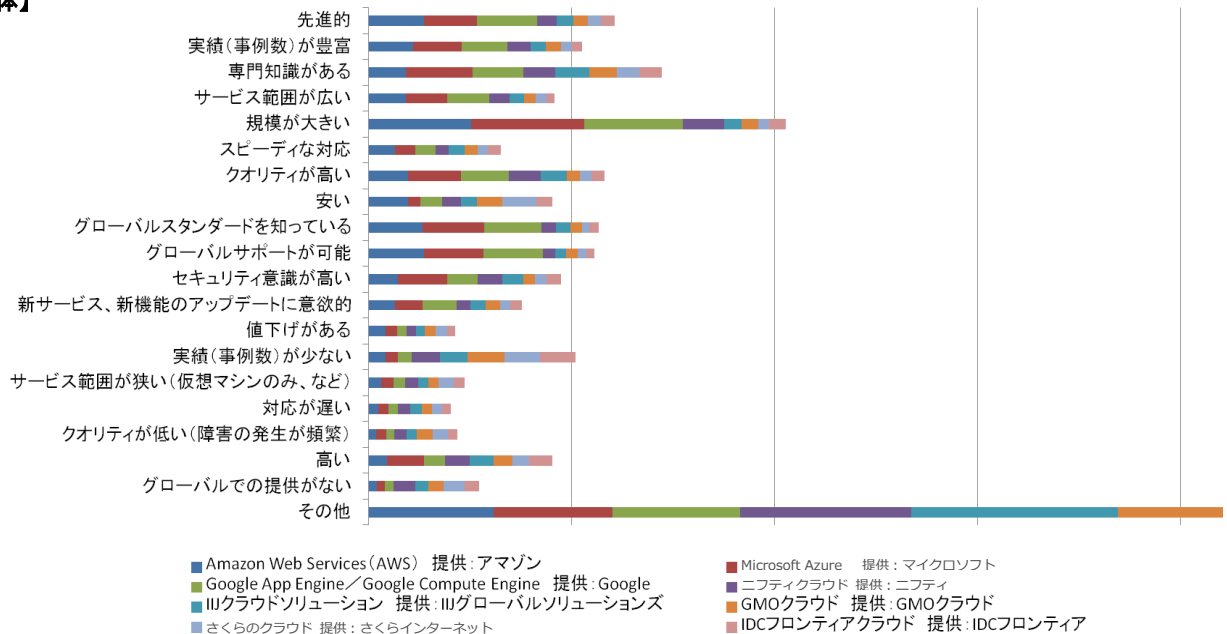


## ～各クラウドベンダーのイメージ調査～

- ✓ 各クラウドベンダーに対するイメージを比較すると、以下の結果となった。以下、各ベンダーごと、イメージの上位3つにランクインしたものを記載する。
- ✓ 「1.Amazon Web Services(AWS) 提供:アマゾン」は「その他」が 30.8%で最も高く、次いで「規模が大きい(25.3%)」「先進的(13.8%)」。
- ✓ 「2.Microsoft Azure 提供:マイクロソフト」は「その他」が 29.3%で最も高く、次いで「規模が大きい(27.9%)」「専門知識がある(16.4%)」。
- ✓ 「3.Google App Engine/Google Compute Engine 提供:Google」は、「その他」が 31.4%で最も高く、次いで「規模が大きい(24.3%)」「先進的(14.8%)」。
- ✓ 「4.ニフティクラウド 提供:ニフティ」は、「その他」が 42.2%で最も高く、次いで「規模が大きい(10.1%)」「専門知識がある(7.9%)」「クオリティが高い(7.9%)」。
- ✓ 「5.IIJクラウドソリューション 提供:IIJグローバルソリューションズ」は、「その他」が 50.8%で最も高く、次いで「専門知識がある(8.3%)」「実績(事例数)が少ない(6.8%)」。
- ✓ 「6.GMOクラウド 提供:GMOクラウド」は「その他」が 51.8%で最も高く、次いで「実績(事例数)が少ない(9.1%)」「専門知識がある(6.7%)」。
- ✓ 「7.さくらのクラウド 提供:さくらインターネット」は「その他」が 52.8%で最も高く、次いで「実績(事例数)が少ない(8.8%)」「安い(8.3%)」。
- ✓ 「8.IDCフロンティアクラウド 提供:IDCフロンティア」は、「その他」が 55.5%で最も高く、次いで「実績(事例数)が少ない(8.7%)」「高い(5.7%)」。

Q5. 以下ベンダーに対するイメージについて、当てはまると思うものをいくつでも選んでください。  
(MA、n=1000)

### 【全体】



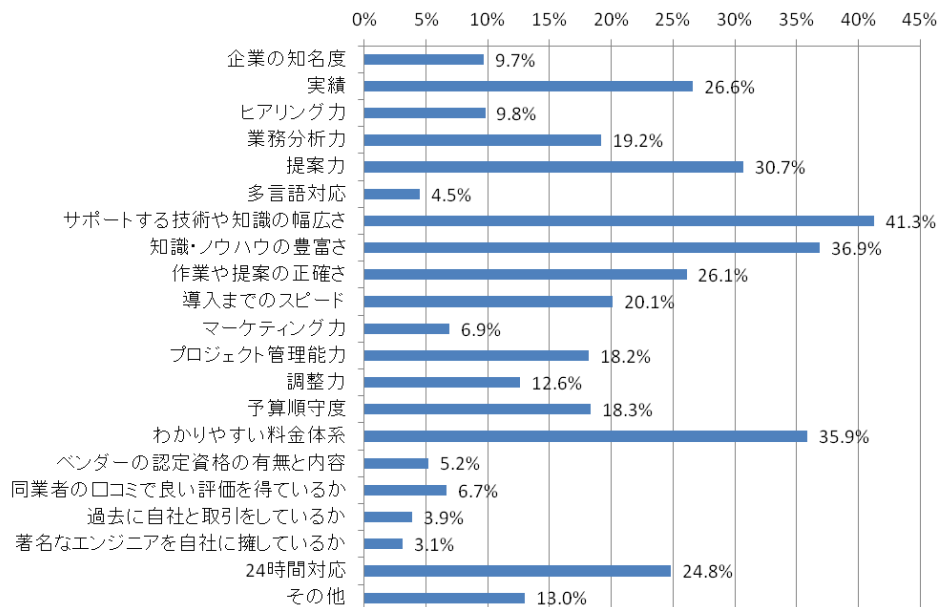
※各ベンダーのイメージを「業種別」「従業員規模別」「年商規模別」に比較した数値結果については「クラウド総研」HPをご参照下さい。

## ～クラウドインテグレーターを選ぶ際に重視すること～

- ✓ 全体では、「サポートする技術や知識の幅広さ」が 41.3%で最も高く、次いで「知識・ノウハウの豊富さ(36.9%)」「わかりやすい料金体系(35.9%)」である。
- ✓ 業種別に特色を見ると、「情報通信業」における「サポートする技術や知識の幅広さ」、「金融業・保険業」で「実績」「作業や提案の正確さ」、「不動産業・物品賃貸業」で「調整力」「わかりやすい料金体系」「知識・ノウハウの豊富さ」が、「学術研究・専門・技術サービス業」で「わかりやすい料金体系」が全体より 10 ポイント以上高い数値をマークした。
- ✓ 従業員別に特色を見ると、「51～100 人」で「提案力」が、「501～1,000 人」で「業務分析力」が、「1,001～2,000 人」で「ヒアリング力」が、「3,001 人以上」で「プロジェクト管理能力」と「提案力」がそれぞれ全体より 10 ポイント高い数値をマークした。一方、「1～10 人」で「提案力」が、「501～1,000 人」と「3,001 人以上」で「分かりやすい料金体系」が、全体よりも 10 ポイント低い数値をマークした。
- ✓ 年商規模別に特色を見ると、際立った特色が出たのが「500 億～1,000 億円未満」、「1,000 億～1 兆円未満」、「1 兆円以上」の3つで、「500 億～1,000 億円未満」では、「実績」「提案力」が全体よりも 10 ポイント以上高い数値をマークする一方、「知識・ノウハウの豊富さ」「分かりやすい料金体系」が全体よりも 10 ポイント以上低い数値をマークした。
- ✓ 「1,000 億～1 兆円未満」では、「提案力」「知識・ノウハウの豊富さ」が全体よりも 10 ポイント以上高い数値をマークした。
- ✓ 「1 兆円以上」では、「実績」「業務分析力」「提案力」「導入までのスピード」「プロジェクト管理能力」「調整力」「過去に自社と取引しているか」が全体よりも 10 ポイント以上高い数値をマークする一方、「わかりやすい料金体系」は、全体よりも 10 ポイント低い数値をマークした。

Q6. あなたがクラウドインテグレーターを選ぶ際に重視する点は何ですか。以下から当てはまるものをいくつかもお答え下さい。(MA、n=1000)

## 【全体】



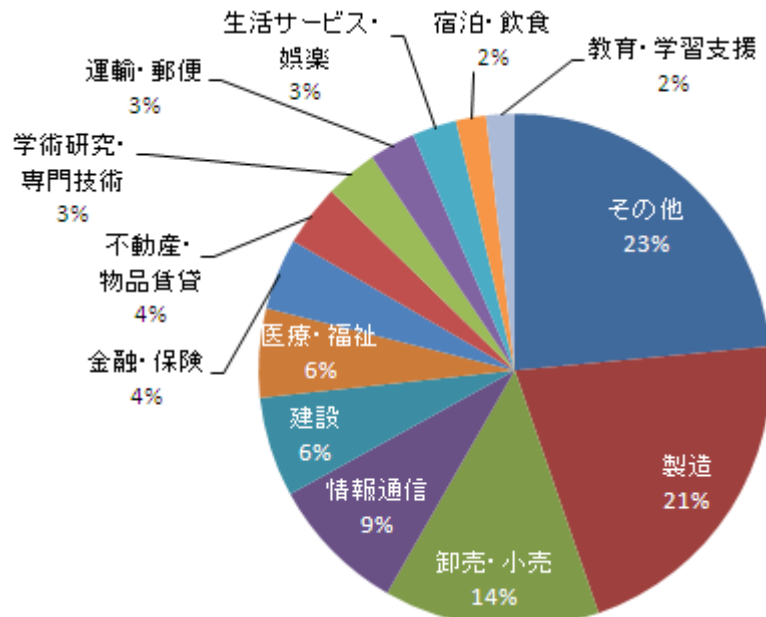




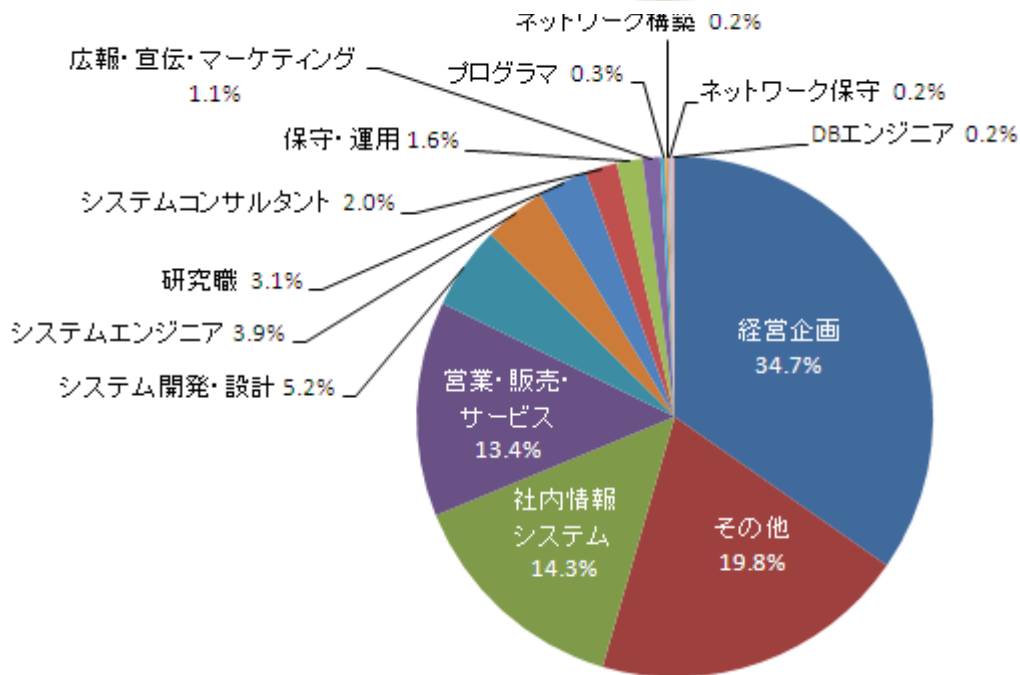


## 参考: 回答者属性

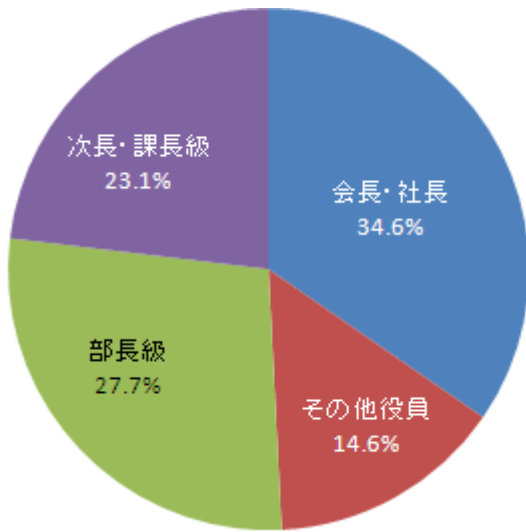
### 【業種】



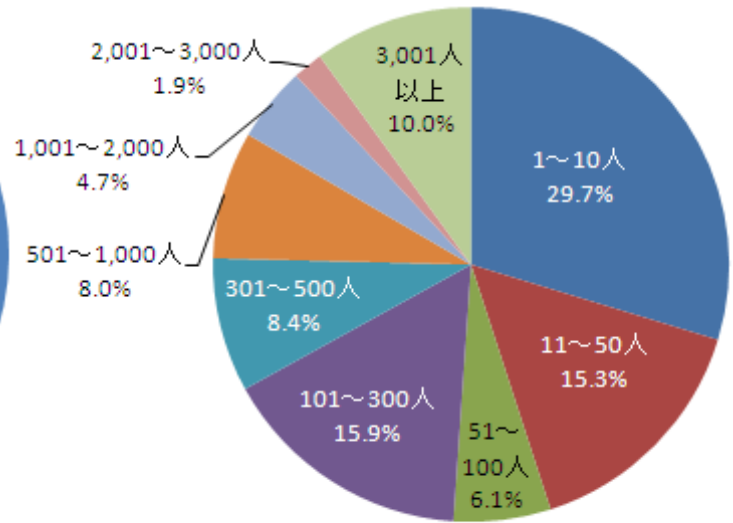
### 【職種】



【役職】



【従業員規模】



【年商規】

